

中学生・高校生に、今、伝えたいこと

—何のために働くのか、これからの社会で求められている人財とは—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 県立高校入試も終わり、いよいよ新しい学年を迎える時期になりました。今週私はあちこちの中学校で授業をしてきましたので、今日はそのお話をしたいと思います。
3. 経済団体の1つに公益社団法人経済同友会(東京)というものがあり、この経済同友会には経営者の方々を無料で中学校や高校に講師として派遣するプログラムがあります。私もそこに登録していますので、講師として行かせていただいたのです。
4. 3月4日(月)は、東京都練馬区立石神井西中学校へ行き、卒業間近の3年生の皆さんに「学生時代に学んでほしいこと—これからの社会で求められる人財とは—」というテーマでお話をしました。また、次の日の3月5日(火)には、東京都墨田区立文花中学校の3年生にお話をしました。テーマは、「社会に出て働くことの意義・心構え—今の社会の流れ・必要とされる人財とは何か—」でした。墨田区立文花中学校では、同じ話を違うメンバーの方にもさせていただきました。
5. なぜこの時期に中学3年生の方々にお話をするように要請があったのかということ、中学3年生は受験が終わり、4月から高校に行ったり仕事をしたりするという方がほとんどです。その方たちにこの時期に自分自身を見つめ直してもらって、高校に行ったらどのように勉強したらよいのかなどについて自覚をしてもらいたい。そのために学校はいろいろな方々を呼んでお話を聞かせる機会を持っています。企業経営者の方々からお話を聞くのもその一環のようです。特に、子どもたちは社会に出てどのようなことをするのかということがわかっていけませんので、そのことを少しでも理解して高校生活を過ごすのと、ただボーッと過ごすのとでは違うのではないかと、最後の勉強として学校側が用意してくれたのだと思います。
6. ここで放送をお聴きの皆さんにお願いします。もし皆さんや皆さんの周囲に子どもたちがいましたら、これから話すことを子どもたちにお話していただきたいと思います。子どもたちが勉強に親しんだり自分自身を見つめ直したりするときに参考になるとと思いますので、御紹介させていただきます。

7. 学校側から話してほしいと依頼されたのは、「中学時代に楽しかったことは何ですか」、「夢や目標にしていたことは何ですか」、「社会に出て成功するために必要なことは何ですか」、「これからの社会で求められる人財はどのような方ですか」ということでした。
8. 私が中学時代に楽しかったことは、本を読んだり新聞を読んだりすることです。また、部活動で柔道をしていたことや、ときどき手伝いで陸上競技大会や放送陸上、合唱コンクールに出させてもらったことも楽しかったことです。さらに、同級生と一緒に過ごして楽しかったこと、生徒会活動や学級会活動をして楽しかったことをお話しました。すると生徒さんたちは、「ああ、そうか。大人の人も今の自分たちと同じようなことで楽しかったんだな」と感じてくれたようです。
9. 私が夢や目標にしていたことは、弁護士か外交官になることでした。実際はなれませんでしたので、それはそれで仕方がないと思います。しかし、結果的にはなれなくても、弁護士や外交官になるために勉強していたことは、自分自身の成長に役立ったと思います。挫折や失敗もありましたが、その勉強を通じて得たものはたくさんありましたので、そのことをお話させていただきました。
10. 私は中学時代に柔道をしていましたので、できれば県大会で優勝したいなと思い、椎名宏先生の指導の下で練習をしていました。その当時椎名先生は柔道5段の腕前で、素晴らしいコーチをしていただいて優勝に導いてくださいました。ただ、練習はとてもきつくて、「練習で泣いて、試合で笑え」とまで言われて練習をしたこともお話しました。
11. また、英語が好きでしたので、中学校を卒業するまでにできれば英語検定の3級に合格したいなと思って勉強し、中学3年生の2学期に3級に合格しました。その当時は、中学3年生が400人ぐらいいましたが、合格したのはほんの数人しかいませんでしたので、朝礼のときに校長先生から表彰されました。今は、多くの方が英語検定の3級に合格しますので、校長先生から表彰をされることはなかなかないと思いますが、検定に合格してよかったなという思いがありました。このような話も、「昔の人でも英検を受けたのか」ということで親しんでいただいたようです。
12. 社会に出て成功するために必要なことはどんなことかについては、私は、いろいろな仕事には必ずお客様がいて、そのお客様のお役に立つことが積み重なって社会のためにもなるというお話をしました。すると生徒さんたちは、「お客様がいるのはわかるけれど、それが社会のためになるということがよくわからなかった」と言いました。放送をお聴きの大人の皆さんは、いろいろな仕事にはお客様がいて、お客様の役に立つことが積み重なると社会の役に立つことが多いこと、そして、社会的な使命を果たすことも仕事の大事なことであるとおわかりだと思います。しかし、このようなことも子どもたちはよくわかりませんので、ぜひ教えていただければと思います。
13. さらに、「自己責任」とは自分の責任は自分で取ること、「自助努力」とは自分の身は自分で助けること、「自分の未来は自分で切り開く」、「あきらめたらおしまい」ということもお話したら、とても面白いと言ってくださいました。

14. これからの社会で求められる人はどんな人かについては、コンピュータ(エクセル・ワード)のレベルを上げていただきたいことと、世界の方々と交流するときは英語ですので、世界の共通語である英語を使いこなせるように中学校の勉強をしてもらいたいとお話しました。中学校と高校の勉強は一生役に立ちますので、教科書は捨てないで繰り返し勉強してくださいということもお話しました。

15. 放送をお聴きの皆さんも、中学生や高校生の方に自分の昔のお話やこれから必要なことについて少しずつお話していただければ有難いと思います。今日は、東京都の2つの中学校の3年生にお話した内容を少し紹介させていただきました。

— 2013年6月12日加筆・訂正、林明夫—